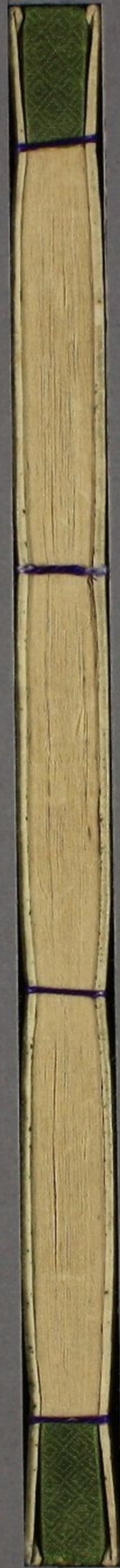


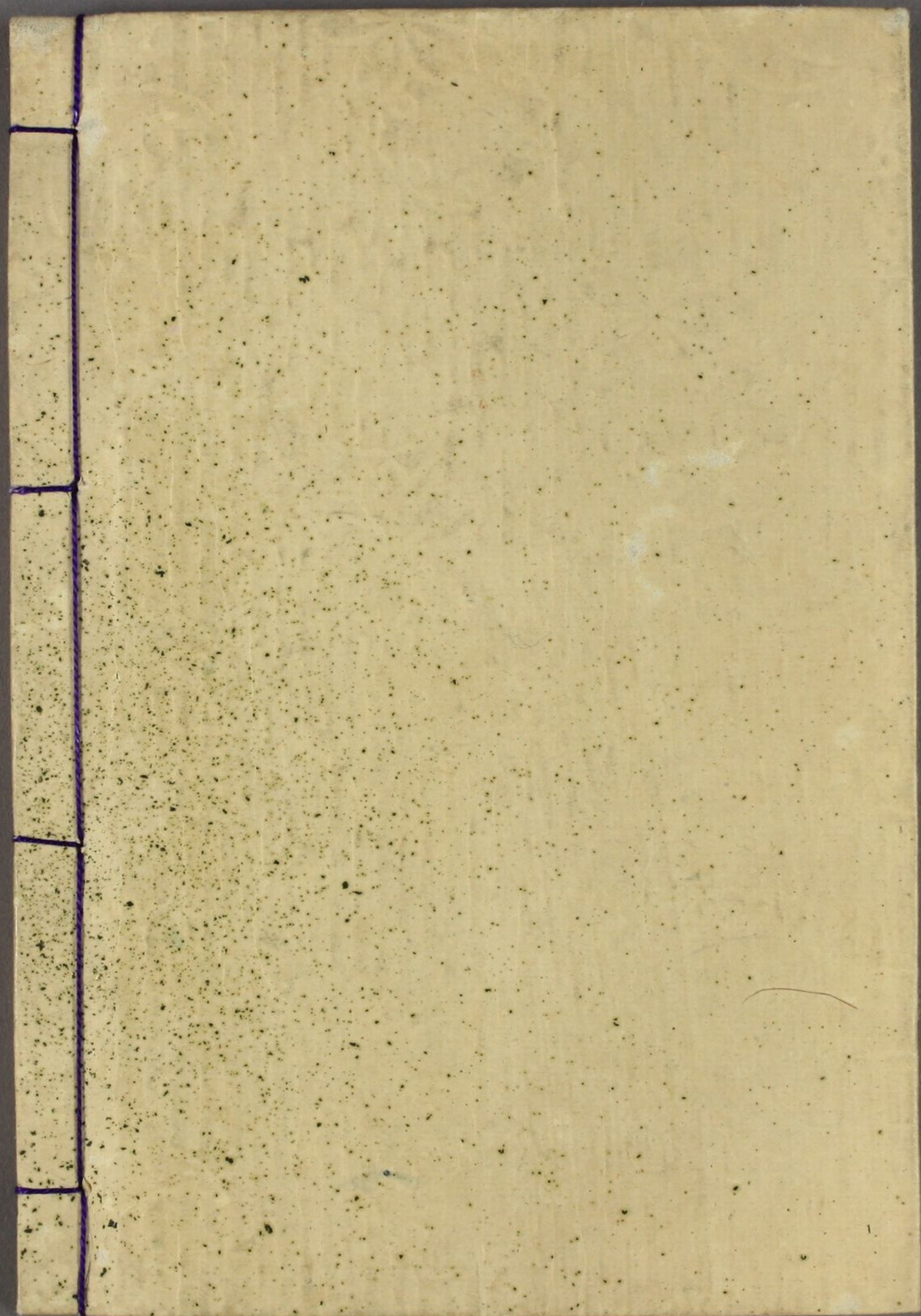


開化新題歌集

大正十三年
三月
發行







大文保忠源編輯

開元新題歌集 全

恒書花梅

多はらむさきくわんしんさきん
たへんせいのしんせいのしんせいの
たへんせいのしんせいのしんせいの
たへんせいのしんせいのしんせいの
たへんせいのしんせいのしんせいの
たへんせいのしんせいのしんせいの

Handwritten cursive script on the left page, consisting of six lines of text.

Handwritten cursive script on the right page, consisting of six lines of text.

Handwritten text in Arabic script, consisting of six lines of cursive writing.

Handwritten text in Arabic script, consisting of six lines of cursive writing.

Handwritten cursive script on the left page, consisting of six lines of text.

Handwritten cursive script on the right page, consisting of six lines of text.

日路東あゝい庭よ

海の音をいれりぬ

心浮きよき世に

Shinobu

開化新題歌集

東京 大久保忠保編輯

大陽曆

まほりのあゆふをいし曆まほけけゆく世の志をいえり 横山 由清

あきまをいし古きまをいし初夕月のほろけり 星野 子え

はるまをいしはなをむくけり 藏田 信申

あけつきのあきまをいし 岡野 伊平

あけつきのあきまをいし 近藤 伊平

新年
宴會

あけつきのあきまをいし 林 信立

あけつきのあきまをいし 増山 信立

あけつきのあきまをいし 由清 由清

紀元節

年のそふいもきかきと極系は世ありてんけふその白を 首坂 良照

かゝ系ふあしりくは代を万世もいやくのそふあつぐわの母 三條西 伊予

電信機

こよははにかよふをいれハ風のきよなききさひひあき世なり 本居 季知

あまやこのていさつひ一はちふのよふかよはりも時のちりて 坂田 聖穎

わろのか國とりふ國を降しとていふ節のそふもまらぬ 中村 年平

稲つるの光のまよふるま山こもてちりくる光の玉津さ 木場 秋香

時のすまちさとをいふ稲つまのたより娘きち世のまらぬ 榎渡 清生

風のむすまきまきまき一神の世のむすまきまきまき 鈴木 容盛

あまひあきさひはつらつらつらつらつらつらつらつらつ 屋代 重嶺

まねいさる人そやあまきまきまきまきまきまきまき 柳 漁

まのあまきさひはつらつらつらつらつらつらつらつらつ 前島 逸堂

雁のあまきさひはつらつらつらつらつらつらつらつらつ 高橋 庵

分園のとほきたよりもひと節のつらつらつらつらつらつ 西川 廣微

おまきしあまあやれつらつらつらつらつらつらつらつ 竹内 菅

あまのはらけきさるも一すらのつらつらつらつらつらつ 小原 莖子

いんちあまのそふのほつらつらつらつらつらつらつらつ 岩間 由清

かけまひ系系を節まきあつらつらつらつらつらつらつ 田中 政養

たゆまぬくひつらつらつらつらつらつらつらつらつらつ 美野 暢

かけまひ系系を節まきあつらつらつらつらつらつらつ 平野 真守

梓子いづくは海のほとけにうきよはの玉は結りて 山中 大観
 風のよとほのほをさし節のしるしよりなきくら 上月 阿中 亮
 海川のへそはいつくをすちありつるそたてよかまぢ大 江刺 恒久
 千里ゆく席もむさひ一時のよあひつるのむさく 伊藤 好清
 梓子あふもはやし風よりもと紀さうりをい何たたく 天田 元貫
 縮はすの光にまきして何ともあはれはなう 高山 茂
 と如のまのうきよりいあつ月の光をさや 玉城 重清
 心あはすの光のほもあまをさく 山田 則壽
 國とりあふのきつるもは 歳田 重時
 存のの 伊平

郵便

阿のちよあま 伊東 亮
 ぬこのよあ 伊東 祐介
 ちねや 猿渡 盛愛
 ち里 伊賀 春信
 此 松井 直恒
 阿 松井 直恒
 申 伊賀 志
 存 松井 直恒
 皆 松井 直恒
 存 松井 直恒

汽車

ねーよりひんりうもなきらんもものまのあつたれ 佐木 高 範
 静もなうりぬ世そあひまきり日下む海もあまき 長谷川 安 邦
 わさりのほりも今にささくしのなうりぬ使もや家 子 之
 とのまのなうりかきんりぬまのあまきかしのまなき 由佳
 尼もむいりあうりやまきりひんあひきりもゆり車 早 公 紀
 年月をむりいふたもなまきりかきり車の阿のまきり 重 旅
 ねえとや海をかけりこちきりこやらの世天の鳥舟 大徳 梅 玉
 赤あびく烟のすまき共 八木 恒 久
 すみゆり世のあまきりまのあまきり車 八木 恒 久
 時のあまきりまのあまきり 祐介

はるけき 年平
 りん 空
 人 由清
 雪 蛸尾
 り 柳漁
 ち 悦静
 す 金子
 子 重時
 ち 伸
 ち 大岡
 つ 花々

停車場
汽船

烟ろくろふこえきよひとくも乃もあやも時のあかりて 佐野 磯平
 ちりまゆ浪もくろふはれも船は静なりありにん 藤井 行道
 わるちりりふ舟よまはれちるちやもあやもあはれ世 中島 舟子
 こころこちよ舟はきくも平まうたつ。烟をある跡して 重光
 沖きくちやあひのちを渡をわけてくるまのあひ 藤木 啓
 阿つ波はたつちやあひのちを渡をわけてくるまのあひ 猪坂 修
 世をやすくする舟はわかれもあひのちを渡をわけてくるまのあひ 柳漁
 火の神のこころまはれぬ 古城 元貫
 心丸のちりりこのまぬ船もあひのちを渡をわけてくるまのあひ 俊平
 留井つるちりりこのまぬ船もあひのちを渡をわけてくるまのあひ 首友 法水

四

飛脚船
軽気球

たあきそをあはるちりりのまぬ船もあひのちを渡をわけてくるまのあひ 大平 法水
 ちりりこのまぬ船もあひのちを渡をわけてくるまのあひ 隆
 こころこちよ舟はきくも平まうたつ。烟をある跡して 実盛
 沖きくちやあひのちを渡をわけてくるまのあひ 小
 阿つ波はたつちやあひのちを渡をわけてくるまのあひ 尾
 世をやすくする舟はわかれもあひのちを渡をわけてくるまのあひ 光範
 火の神のこころまはれぬ 近藤
 心丸のちりりこのまぬ船もあひのちを渡をわけてくるまのあひ 由法
 留井つるちりりこのまぬ船もあひのちを渡をわけてくるまのあひ 貞美
 たあきそをあはるちりりのまぬ船もあひのちを渡をわけてくるまのあひ 大島
 ちりりこのまぬ船もあひのちを渡をわけてくるまのあひ 足立
 こころこちよ舟はきくも平まうたつ。烟をある跡して 正聲

日よすむ人の情を帆はあつて天はさそをけし舟は
 舟一赤心よけつてやうらな月のもひを友ありしり
 野くまむもの涙をささうて玉上りてをあつたふま
 比々けやく人のたぐいのぬちもさめりゆり舟もまたり
 志はゆのくもあひんやすすもあまゆいあひひつはやふ
 人をまへけさるおふさふさやうらなまよふわさあ中
 久々の月の松をさそ一くれまの戸やる舟のたより
 かすうたさ人のくもささうちりてやの上ゆく舟もま
 舟のほやのほはるまゆけあれたまひのある舟のあや
 おりのぬちをささうたさふさふさのぬちをささうた
 近敷
 廣徳

馬車

ちうけやくるまはやくあつたはるしり三の車を
 一まちままゆけさうゆりおのまはあまありさや
 とくかけさるまはく一月のまゆり舟もあまさうり
 小まをほささうけつてささ毛の船かけさるまは
 比々けやく舟の群のさるまは心のけしぬ人あつた
 乃のまの何あつた人さるまは心のけしぬ人あつた
 世中ままさうまかしてまわさをひまゆり舟のいさ
 多
 多まもやめつたまなつさるまはたぬさハ一とま
 小まのさうまままままままままままままままま
 心ゆく人のさるまはさうりてはまゆり舟のいさ
 由清
 修
 大蔵
 茂雄
 重時
 清生
 正文
 廣徽
 燕子
 豊氣
 隆

人力車

しまのなまあつてつるきゆく 節のやまのたれきん 廣徳
 ころろよこしをかくてくけ ちあるま ちのまの 朝直
 小車の何とぬ 節よまうまう 我もさあぬ ちくく 久子
 此ころいさきいの中た可あつて ね人あきたの 小車 松平 忠敏
 人のまあるくまじよ人のひく ねのたれきん 世をうしのあひ 柳池
 汗あえて引ゆよりも ね人のこる 節と ねやうま まま
 すきゆけハ ねひすひハ ちまよカ 車をもりてま せぬ 要
 ちのまあひひく ちあひく 人いりちあひひれ ちやき 朝直 八木
 此のまもりも ちくく ちつ 民半きん ちまのたれきん 辰 安
 おしりしりあ ちくく ちくく ちくく ちくく ちくく 最信 藤部

小学校

めのあのはくも ちくく ちくく ちくく ちくく 吉菅
 ちくく ちくく ちくく ちくく ちくく 信立
 大政ゆ ちくく ちくく ちくく ちくく 明善 金丹
 ちくく ちくく ちくく ちくく ちくく 春信
 村のちくく ちくく ちくく ちくく ちくく 宗四 赤沢
 花のまきみ ちくく ちくく ちくく ちくく 藤光 三田
 甲のまきみ ちくく ちくく ちくく ちくく 高子
 けのまきみ ちくく ちくく ちくく ちくく 重光
 けのまきみ ちくく ちくく ちくく ちくく 株苗 久岡
 ちくく ちくく ちくく ちくく ちくく 逸史

女教師

作るものなれまてくちあぬふゆけりうのやれらひの台 実塗
 うしやまて度きをしんをけり山のまき甲まもさあ何世廣橋 庭世
 あさういさあはつらるるあひのほひめしき足もそこれ 塚系 幹磨
 うちあも國の光をそ入すしんをこくちのほあて 柳漁
 こつ甲も欲のほまうなるうらまのほをききそいぬりあし 白井 幸彦
 洞川中。礫家の花のふしすも 夜の海まほるは世くれ 美濃 損
 そものぬきまきたなもよもこのあてのありけりきけりこれ 翠
 ちのけりうちあぬもとりてあてのあまあさるは世も 吉村 美充
 百こりれりつうのあをほりめあてあひのまきまもあふあふ 二の柳 春栖
 時のけるこねやきしつゆなるまきをまかこも我のあある 小保 景徳

外國 語学校

外國のこいあはくもあまをこいのなよりやうまつ 美元
 こいあはくもあまをこいの人あはくもあまをこい 祐介

洋字

こいあはくもあまをこいの人あはくもあまをこい 殿

女学校

こいあはくもあまをこいの人あはくもあまをこい 佐三

弄族 学校

こいあはくもあまをこいの人あはくもあまをこい 廣流

農学校

こいあはくもあまをこいの人あはくもあまをこい 殿

工学校

こいあはくもあまをこいの人あはくもあまをこい あま

洋学生

こいあはくもあまをこいの人あはくもあまをこい 主光

廿のめよを要するなりいふやゆる格をうまるといふれ 文班 文橋

女生徒 少のけい密なるをそとぬおねをうらうまを志のきく 祐介

はあめこのめの特うちきつゝ親ふとありゆい後うそを 子久

新聞紙 徳をきく梅のきつうもろけい何このきよはく 小中村 凌矩

てのいさありのりしきききくもやん思者のかまのいひく 豊頼

ねんまよりうらやぬ思者の神のいはの侍をうき 年平

ふかふかすもいしきしも年級月きくうあふきはすん 蕉光

りかきいきいふいふいふいふいふいふいふいふいふ 小林 翠山

あけのあめりいもやめいふ年秋らくきく世くたり 逸堂

仮そあふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ 堀尾 堀尾

新考
記者

読実
此間

説教

新しうまあつりきくきききききききききききききき 近夜 正御

よききくいあれたるたひびろくくハみのなりいひをさるるきり 柳漁 柳漁

おろろのするらるるはあははれははらりきとすい止たれ 容盛 容盛

その徳をいむいふたれいあもやん年々よむ人もる地 孝信 孝信

一まもちやのめいしつこのきよのきよのきよをばいあやひ 朝車 朝車

はきくこのののきくい人をとりくおろろのひらういさほ 文樹 文樹

人いふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ 則壽 則壽

大世のめいきききこのみとくハハハハハハハハハハハハハ 忠村 忠村

はははははははははははははははははははははははははは 信玄 信玄

言はるるいふやのあはははははのこちをいむいふいふいふ 最信 最信

神道
大教院

神道

照影

そのくは各の里のうらまは神世のくらしをたはしき
そのくし人の姿をうつし影は百代も変はずとけいしき
くはくまきの子さしむは何もてんまのくしをうつし影ある世を
思ひきやうけをうつしやうけはまじぬ世の世へんとく
めはまのくしをうつしありぬつし昔をうつし影ありき
あまのくし紙かみふとめはけうつりつるくしはあまのくし
今の世のうらまをうつしおけをうつし昔とてん人のあ
まはくしの子の影をうつしあまのくしをうつし影あり
面をけをうつしあまのくしをうつしあまのくしをうつし影あり
るもやうく影のくしをうつしあまのくしをうつし影あり

大徳 及永高
松平 慶永
行遠
公紀
甘芳樹
年平
容盛
子之
由法
及永高

宇たふくまのくしをうつしあまのくしをうつし影あり
くしあまのくしをうつしあまのくしをうつし影あり
信無
坊山 森久子
伸
安邦
政春
山田 和秀
菊池 目亮
元貫
後友 伴平

まことその子つらうとるをさされひけゆ世の後なりたれ 長谷川 安資
 藤生をぬかきまらぬにやうくはまぬ代めを大天 村田 靈定
 わりよりこのまあは親のまら少御はなもあはしを 大久保 忠保
 中へまらなまはひてはるの月めてる日をさるる六町の年 行道
 今とまら村とまらてまやうりけゆ世のなまら 山田 景信
 かたより丹下もゆかたはくきうまを村とつ世をぬぬ 謙益
 まやと人きつてゆきぬ今と世のゆけまら 山田 実益
 夕まこれぬらりの年たれはるまらてす 山田 系徳
 中くまらぬハ杖をかえりの名ハけきぬ 山田 頼玉
 西をれ一のちまらぬのまらひを杖とく 山田 文松

氷賣

冬も氷も買てらりりのかやく出ら世うやす 血友 芳介
 冬も氷も買てらりりのかやく出ら世うやす 血友 芳介
 おすほらふもいけてす 血友 行道
 はし戦うさあてのちふ氷うら 血友 親賢 松平
 へんうらぬ 血友 美羽
 市くま氷をばき 血友 柳海
 はちまら 血友 朝直
 とう 血友 重嶺
 夏は 血友 実盛
 ふ 血友 葆光

煉石
石化

水さゆの人のあきぬかりなるにゆめをこころにさしん
 ありまやうてふれん隙きいこりや及の女事をも尋
 りつ中ころころとたて居あつきまするものしけき
 訪むる最もとあるまきくけのすくくゆるのりつる
 市人のくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 けけけけけけけけけけけけけけけけけけけけけけ
 こころこころこころこころこころこころこころこころ
 なるものこころこころこころこころこころこころこころ
 こころこころこころこころこころこころこころこころ
 阿多ありれぬ縁のこころの事終つてさるる世のめりるか

三田 花船尾
 尚
 出保
 茶光
 実盛

寒暖計

何くゆのつちをさるるやまわてつねの家はく代へてせし
 尾もてんやうつらたつものいよかくつものけひやハおれ
 もふあゆのてんやうつらたつものいよかくつものけひやハおれ
 まま本ちうらら何さん植やまて石布つらたつものいよかくつもの
 植ぬりて焼るる形いよみくるものたつたあわあまあ
 志はゆりまきちもてあいつくねも獲てかめえたつこころひ
 て他のこころやうたふかふらんすふらんすふらんすふらんす
 けいのおつさ言はれ何りれてあふらんすふらんすふらんすふらんす
 光の才もはゆりまきちもてあいつくねも獲てかめえたつこころひ
 るくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

啓
 文樹
 安資
 兼田 年権
 金威
 和秀
 幸知
 右敏
 小出 榮
 右保

玻璃窓

る風かめものそとへはけつをきりぬかき火のむす
 かききききききききききききききききききききき
 ちりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 ろのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 と年一火のりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 やりのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 くれりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 とりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 降りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 ゑりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 ゑりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

年平 彦子 磯島 大和 彦子

瓦斯燈

て地のあやなくすまきこころも世のあけきかたのりりりり
 君の代のあやなくすまきこころも世のあけきかたのりりりり
 やりのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 法人のあやなくすまきこころも世のあけきかたのりりりり
 ろのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 やりのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 ゑりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 ゑりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 ゑりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 ゑりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 ゑりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

情生 度微 重村 子之 重村 浜 恒久 秀真 安邦

石腦油

かきりあくりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 とのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 とのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 とのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 とのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 とのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 とのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 とのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 とのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 とのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 とのりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

安邦 秀真 恒久 重村 子之 重村 浜 恒久 秀真 安邦

鐵橋

和光の玉も何せん國のきふてはハ石の油あり汁生 燕子
わのやけけふもらちまのり代をうかけてさうまをまの橋 赤に橋 賢
かけらわつしむをまをこまの橋ハ國をむはしこりま程 大観
おのまはらるる人ともけけけ世まをまはまをけけり
こまはらるる人ともけけけ世まをまはまをけけり
發はの橋うらうらまをのてかけ橋うあうあうめままき
まろんまの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
とらまの代のまをこまをていさの橋うらうらまま
衆もてててまのかけめまをていさの橋うらうらまま
拙人の高ぬらうらまをていさの橋うらうらまま

吳代橋

年をくもらうらまをていさの橋うらうらまま
はけけけ世のまのまをていさの橋うらうらまま
くまらまの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま

鎧櫓

年をくもらうらまをていさの橋うらうらまま
はけけけ世のまのまをていさの橋うらうらまま
くまらまの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま

國旗

年をくもらうらまをていさの橋うらうらまま
はけけけ世のまのまをていさの橋うらうらまま
くまらまの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま

暖爐

年をくもらうらまをていさの橋うらうらまま
はけけけ世のまのまをていさの橋うらうらまま
くまらまの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま

避雷針

年をくもらうらまをていさの橋うらうらまま
はけけけ世のまのまをていさの橋うらうらまま
くまらまの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま

唧筒

年をくもらうらまをていさの橋うらうらまま
はけけけ世のまのまをていさの橋うらうらまま
くまらまの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま

柳魚

年をくもらうらまをていさの橋うらうらまま
はけけけ世のまのまをていさの橋うらうらまま
くまらまの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま
まの代やまをこまをていさの橋うらうらまま

今ハ世ナリキミヨ井ノオホキトノ人ノカクハヤウキヲセぬルヤシ

浮標 いぢき 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

檢震機 いぢき 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

洋画 いぢき 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

活版 いぢき 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

摺附本 いぢき 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

石盤 いぢき 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

子

貞美

祐吉

雕

圭遠

止ほ

弘子

安邦

廣胤

三子

紙屋川と云ふもふりてふのよはわらぬゆゑの標はしり

鳶被 とひかけり 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

勿大小 いぢき 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

断髪 いぢき 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

弦ひ いぢき 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

かき いぢき 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

い いぢき 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

慶刀 いぢき 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

君 いぢき 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

秋 いぢき 一底のしりもかくれ海に沖津舟隊の志願のしり

重時

廣徳

安邦

お貞

逸堂

実盛

おと

重敬

柳漁

幸磨

立書
政体

たふぬまのものをけりてあつたをうりちやふりおとあつたがう
加部 巖夫

復古

神崎山下のまゝなる末の心むしうりつる道にありは
祐介

廢藩

わさくへのこのすまふさうさうのなまうぬ
伊平

廢関

天の下あまのくすのむすれいへこの家の戸もあし
及求富

元老院

いり一鉢つて空めんも末もかゝぬ世とゆふさう
芽樹

訓盲院

時のあつたぬめのくの備人もむひうさすをさう
安彦 加後

病院

いくさよのきくさうさうさうさうさうさうさう
あく

いゝ薬くふはこやのいさくもむしうさすは世のれ
信立

かゝまや大洗磯の神はうりもさういぬさうさうさう
容盛

起慶
病院

さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
さき

菅三月

そのつふかゝあははさうさうさうさうさうさう
重光

盲種切

やあひつらひろさうさうさうさうさうさうさう
明善

雅楽
秘古心

年もさうさうさうさうさうさうさうさうさう
忠厚

模倣切
送船切

そのさうさうさうさうさうさうさうさうさう
さき 磯子

王子
制紙切

けらさうさうさうさうさうさうさうさうさう
重光

器械
築紙切

あさうさうさうさうさうさうさうさうさう
信立

東京
書籍版

とらば代の稽のあさうさうさうさうさうさう
秀真

植物園

植あうさうさうさうさうさうさうさうさう
雕

富屋
製菓系

ひさうさうさうさうさうさうさうさうさう
沈

高橋のきつねのまじりし系なれはかろくまりあのだんを 年旌

警視 八木まをまじりし系なれはかろくまりあのだんを 及求富

分署 ぬつ云のまじりし系なれはかろくまりあのだんを 重嶺

巡査 磯まじり一本の杖のまじりし系なれはかろくまりあのだんを 柳漁

一しほのまじりし系なれはかろくまりあのだんを 榮

たつまじり一本の杖のまじりし系なれはかろくまりあのだんを 廣徳

徴兵 さねわろかこのまじりし系なれはかろくまりあのだんを 垂旅

練兵 ぬけしきまじりし系なれはかろくまりあのだんを 慶永

むつまじり一本の杖のまじりし系なれはかろくまりあのだんを 伊路

くろのまじりし系なれはかろくまりあのだんを 逸生

んあひしんきあのあおひしむつてのゆりこく 千之

近傍兵 こころのちよひしんきあのあおひしむつてのゆりこく 太保

陸軍 持けるは程かこころのちよひしんきあのあおひしむつてのゆりこく 市川 重流

兵学校 おおのそよひのまじりし系なれはかろくまりあのだんを 榮

陸海軍 屍のまじりし系なれはかろくまりあのだんを 及求富

海軍 とうまじりし系なれはかろくまりあのだんを 重嶺

海軍始 年まじりし系なれはかろくまりあのだんを 美濃 重一

軍艦 しのしの枝のまじりし系なれはかろくまりあのだんを 新旗

燈明臺 しのしの枝のまじりし系なれはかろくまりあのだんを 貞董

かろくまりあのだんを 秀生

あつてもやそのごとくハ京方ハ侍人の心此をこそ何申よ 侍立

さるちまふ神の恩程を言子れつゝき教は違ふ人あり 及求高

禮拜堂 たつとのてんきなうしうまうまうはうう人のあつてもい 虫海

貿易 おきまういあをあらしていそあむあ六人の思もあう 伊京 寛

欧布 おの手もたつていさうくちあういしゆうもあれる布 柳漁

欧婦 一不そのをいあ度き積きくお方あをせハ一とあゆ 系流

欧人 度うもいあも程もあれものたうもあうもあう 柳漁

ての京甲のそ甲のきうもあはういしゆうくううううれ 重時

めはあぬむのたうの色もあうもあう 寛

欧花 十八

お茶 舟 ときいあうわのいあうもあああて色のかきうまうい 逸生

洋行 四方のあはもあうあああああああああああああああ 一

西洋 栗のうまはうわて社とあうあうあうあうあうあうあ 容盛

外国 大津七人の心をいあういあういあういあういあういあ 秋翁

西洋 志うあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ 宥盛

料理 月うあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ 歌子

測量 かうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ 宥盛

煙草 八百のゆいあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ 秋翁

筆算 たうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ 信立

牛乳 おうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ 明善

このちを母のちえおよびてや、
杉山 昌隆

製鐵 思々のをらるるも一
逸志

鉄道 往より来も一
由清

おののちを母のちえおよびてや、
笠巻

望き遠 幸あつて
子之

あつてはあつてを
鹿巻

種痘 病のつゝやむを
一災

あつてはあつてを
信立

あつてはあつてを
柳海

あつてはあつてを
逸志

牛肉 肉の梅のむ
昌隆

肉店 肉の梅のむ
恒久

男女 肉の梅のむ
本信

あつてはあつてを
重泉

あつてはあつてを
決

あつてはあつてを
由道

あつてはあつてを
信立

あつてはあつてを
柳漁

あつてはあつてを
彫

あつてはあつてを
宮巻

二重のつばの山に地をたし、まをたぬすくちをりき 藤光

久保のそ乃こすてあふのつちあまにわたぬやま 子之

妹とせのふなうれき一理川よし阿見うぬらそこの山 廣徳

自由 自由 自由のよすむせんの中あふむしんあふむしんあふむしん 信立

位山まきまをのむまうて低きも秋の海をそまね 立恭

翻訳書 横さち小舞の阿ての海をめてささううさる候きさう形 秋香

天理 ろえのありはねこるやまを秋の空ありたたらつれ 豊秋

究理 あらうの地の動くまをわのめくんと乃も思ひはらうれ 燕子

地歌 そのら園にうあくまをたれとおのの地ははとつちをりきま 柳漁

は拉をめぐり一糸の徳とあへともよまぬこの園七 吉幹

さくあつらんやままの取あふまをたぬすくちをりき 雲

地歌儀 丁地のをさつあつらんやまの人のさくちをりき 尚

天長節 ち方とくわのちぬてらうのぬらまをたぬすくちをりき 秀禎

てはりのほまこかけて大栗の阿あま、りを挽たぬらまし 茂隆

とらうてはほまこまうりや今をさるほまのほまのほまのほま 信立

てはりのほまかけてまをさるほまのほまのほまのほまのほま 金徳

清きまうりほま、んた天のほれま、りを挽たぬらま 尚

府外 府外 府外のあまのこま民のあま、阿あまのつとひくちま 美政

行幸 行幸 ち人よとりれ、らあたらひらむら、ゆまをほま、らま 豊威

開拓 開拓 ち長節、も田ま、とあつてまの芽つと南うり、ま民を賑ま 真幸

和魂 清身を捨てて... 柳漁
 昇明 山の舟の... 忠敏
 有於 孔有... 西文
 僧侶 志... 藤光
 鷓鴣 うめ... 柳漁
 室内 みる... 芳樹
 新都 う... 明善
 逸早 物... 芳樹
 幸遇 中... 文樹
 開明 ち... 文樹
 日曜日

洋力 ち... 和秀
 推妻 ち... 柳漁
 文化 時... 正兄
 士族 か... 正兄
 降農 了... 伊平
 士族 何... 祐高
 商法 阿... 忠敏
 引車 阿... 柳漁
 士族 人の... 柳漁

廣官

まことまことあつめぬむすむすのこころをまきこ

信立

幼稚園

二葉のうをくつらふやありてあかしの実を結ばん

秀真

うねのうをうひのうをうひのうをうひのうをうひのうを

四葉

母のひさしをて編みあつてつらねてあかしの実を結ばん

実重

あつてまをうけしうをうへにほけのあかしの実を結ばん

棟君

馬車

ひきのおかたりくるるをまきこせーの心のこころをうけ

祐介

退社

はらのうのよをうへにほけのあかしの実を結ばん

宮宮

汽船

るるのうをうへにほけのあかしの実を結ばん

祐介

出港

今よりいつのあかしの実をうけしうをうへにほけのあか

柳漁

地租

これゆへにいつのあかしの実をうけしうをうへにほけのあ

山田 俣

家禄

まをまをうけしうをうへにほけのあかしの実を結ばん

あし

車を登

二十のうをうへにほけのあかしの実を結ばん

柳漁

禄券

うりまをうへにほけのあかしの実を結ばん

千之

大和杖

これゆへにいつのあかしの実をうけしうをうへにほけのあ

柳漁

斜麻の

時あきしうをうへにほけのあかしの実を結ばん

ふ之

賞勲牌

日何ゆきそのあかしの実をうけしうをうへにほけのあ

雕

質を登

ひのうのあかしの実をうけしうをうへにほけのあ

及泉高 孝信

まね人うひとあかり福のあかしの実をうけしうをうへにほ

最信

媚家
字末

隠賣

懲毒
検査

娼妓
解放

人心うらハ勤けまことまらぬあぬれの事忍

比ふれにゆきの始程志をけりりかたれまらぬ

眼といふをいふ信申ふまらぬやまらぬ

ありはらぬ不ありす様よりもたぬあぬれ

皆人まきけりまらぬと毛を以て病を言ふ

くまらぬれはれりりりりりりりりりりりり

穴かこふむすふの受やあてもゆきの光のあし

紐大かきかきかきかきかきかきかきかき

つちまらぬほららぬらぬらぬらぬらぬらぬ

柳漁

幸磨

柳漁

信立

柳漁

藤光

祐名

朝直

招魂社

征討

招初奈

魯土

戦争

徒罪

懲役

墨水
流燈

いまもくちをいふれいふれいふれいふれいふれ

神まらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬ

我の視に國のあめ人まらぬ合控ていふれいふれ

國のおとふ火ときまらぬいふれいふれいふれ

まらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬ

とつあをいひてあめいふれいふれいふれいふれ

大船のつくとまらぬいふれいふれいふれいふれ

しこ軒もかりて控ぬいふれいふれいふれいふれ

くれあめいふれいふれいふれいふれいふれいふれ

すまらぬ川まらぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬ

信立

柳漁

重胤

明長

宗盛

清矩

歌子

柳漁

第一

由清

彼のまゝより大阿多き抄るはしとありやまきとてまらん 北村 松月
 すま川流るより大阿多きとて人のまゝのよる瀬あり 松月 松月
 一はちよおひつゝのめ抄るまゝのよる瀬あり 松月 松月
 疎強者 さうまきとてまらん 抄るまゝのよる瀬あり 松月 松月

作者姓名		・八故人
土手三番町 廿一番地	正七位磯部最信	猿樂町二丁目 八番地
麻布永坂町	伊東祐命	猿樂町一丁目 三番地
佐州小木町	伊藤好清	佐州加茂郡 港町
佐州相川 八百屋町	伊藤成路	佐州相川
関口町 十番地	岩間政養	佐州相川
佐州相川 濁川町	從五位林信立	佐州小木
佐州相川 夕白町	長谷川安邦	佐州相川 濁川町
牛込赤城下町 七十番地	長谷川一貫	浅州新平右衛門町 一番地
	星野千之	赤坂田町四丁目 四番地
		從七位飯田年平
		市川重胤
		伊藤春信
		伊東寛
		岩村すゑ子
		白田山茂
		長谷川安資
		西川廣微
		力石重遠

下谷中徒町三丁目 五十番地	小俣景徳	新橋竹川町 十七番地	岡野伊平
牛込東五軒町 三十九番地	小原秀真	坂売町二丁目七番地 為晉會社内	小原燕子
下谷中徒町二丁目 十五番地	從五位脇坂安斐	佐州四日町 大願寺	若林悦静
牛込南山伏町 十一番地	從四位風早公紀朝臣	佐州相川下京町	上月亮
日本橋數奇屋町 二番地	加藤千浪	四谷仲町三丁目 七番地	加藤安彦
牛込天神町 三十二番地	金井明善	下六番町 廿三番地	加部嚴夫
佐州金田新田	金田知明	糺町七丁目	畑田真幹
佐州小木	風間安	佐州小木	風間有則
佐州赤泊	金子秋彦	湯島辰岡町 三十一番地	從六位横山由清
佐州相川	吉村美充	赤坂一本所 七十三番地	瀧村鶴雄

横濱月岡町官邸 芝神町一番地寓	高橋蝸庵	駿河臺西紅梅町 口三番地	竹内吉常
佐州相川	田中美暢	越後宮平	高野春栖
佐州相川	高野文樹	佐州相川弥十郎町	玉城重清
佐州相川	坪井鴻緒	佐州小木	塚原幹磨
本所松井町	鶴久子	猿樂町十九番地	中村秋香
羽後国秋田郡山田邑	中島守孝	小石川水道町 十四番地	中島歌子
佐州河原田	中山立恭	佐州河原田 常念寺	村田靈定
佐州相川一丁目	猪坂修	神田雉子町 卅一番地	野村松月
赤坂一本所一番地	大岡花郷	小日向水道端町三丁目	大橋反求齋
牛込南町卅六番地	大脇讓翁	市谷藥王寺前町 四十七番地	多門正文

神田錦町一丁目 十番地	大島貞薰	下總國葛飾郡桐村	大塚尚
神奈川三寶寺	大熊辨玉	佐州相川坂下町	大平淡
佐州山ノ神	大瀧茂雄	牛込東五軒町 二十四番地	大久保忠保
牛込北山伏町 十三番地	久間棋翁	佐州相川米屋町	藏田重時
佐州相川米屋町	藏田年雄	佐州相川	藏田信中
下六番町廿七番地	正七位八木雕	浅草榮久町 五番地	屋代柳漁
飯倉片町廿六番地	山田信興	牛込甘騎町 卅四番地	山田謙益
佐州相川八百屋町	山中大觀	佐州荻港	八木朝直
越後柏崎	山田則壽	越後柏崎	山田真幸
佐州相川八百屋町	山田和秀	佐州相川八百屋町	山田倬

小石川水道町	正二位松平慶永卿	浅草北三筋町 一番地	從五位松平親貴
猿樂町十二番地	從五位増山正同	本所緑町五丁目 十九番地	増山之雪子
本所松井町一丁目 十番地	増山喜久子	牛込北町十八番地	松平忠敏
佐州赤泊	前島逸堂	京橋上槓町 十八番地	松廼門三草子
佐州相川	松澤羽卒	佐州相川	牧野伸
佐州小木	松田美政	牛込納戸町卅四番地	正三位藤井行道卿
佐州相川	古城俊平	佐州相川	藤木啓
相別箱根湯本	藤木福謙	越後柏崎	藤卷重威
羅谷仲町三丁目 十四番地	福住正兄	三番町十番地	從五位水場清生
	從七位近藤芳樹	下谷西黒門町 十二番地	小中村清矩

牛込有町 廿六番地	小出 繁	芳樹男	近藤 芳介
小石川諏訪町 四十六番地	近藤 廣徳	牛込築土八幡町	近藤 正郷
越中国水槁	近藤 光範	小日向竹島町 四十三番地	小林 翠山
佐州小木	戀塚 伊賀志	佐州小木	後藤 伴平
牛込築土八幡町 八幡境内寓	江刺 恒久	佐州羽茂本々	海老名 義明
佐州小木町	海老名 由道	三番町五十九番地	從六位 足立正聲
中猿樂町 十三番地	跡見 重敬	市ヶ谷山伏町 十八番地	赤澤 宗四
佐州相川	赤江橋 賢	佐州小木町	天田 元貫
神田錦町二丁目 十五番地	正位三條西季知卿	下谷中徒町二丁目 十二番地	從六位 三田藤光
四ッ谷尾張町 七番地寓	猿渡 容盛	武州多磨郡府中 大國魂神社境内	猿渡 盛愛

下谷車坂町 三十四番地	三田 花朝尼	佐州相川	佐々木 高範
佐州鹿伏	佐々木 秀禎	佐州相川	佐野 磯平
駿河喜南甲賀町 十八番地	佐野 磯平妻佐子	佐州小木安隆寺	菊地 日亮
佐州相川大工町	宮崎 幸麻呂	牛込赤城神社 境内寓	美濃部 鶯一
佐州相川二丁目 濱町	美濃部 損	佐州相川	白井 幸彦
下谷仲徒町二丁目 十三番地	平野 真守	佐州小木琴平宮 神官	廣橋 庭世
牛込神樂町二丁目 五番地	本居 豊豆穎	佐州小木	桃井 直恒
佐州小木正覺寺	從五位 鈴木重嶺	牛込北山伏町 三十五番地	杉山 昌隆
通計百三十六名	首藤 法水	法水男	首藤 良照

明治十一年九月三十日御届
同 年十一月十日刻成

編輯
出版人

大久保忠保藏版

第四大區十小區
牛込東五軒町廿四番地

東京

賣弘

小石川大門町廿番地

雁 金屋清吉

日本橋通四町目

金 花 堂

小石川水道町七番地

金 幸 堂